

柳田邦男氏と中学生が語る平和と未来

鹿沼市戦後80年記念平和集会

総合政策課総務係

☎(63)2138

11月1日、市民情報センターマルチメディアホールで、柳田氏と中学生が平和と未来をテーマに話し合う平和集会を開催しました。広島平和記念式典派遣事業で被爆地を訪れた市内の中学生が、鹿沼での戦争体験の講話や紙芝居を聴き、その後、柳田氏とオンラインで対話を行い、平和について考えを深めました。

鹿沼での戦争体験

集会ではまず、柳田氏の戦争体験の講演映像が上映されました。「空から無数の火花が降ってきたようだった」と鹿沼で経験した機銃掃射や焼夷弾による空襲、小学生の頃に防空壕を掘ったことなどが、実体験をもとに語られました。会場の参加

者からは「柳田氏が語る一つひとつの言葉に重みを感じた」「平和な社会で生活できていることのありがたさを改めて意識した」といった感想が寄せられました。続いて、戦争体験を語り継ぐ会による紙芝居「ぼくが見た鹿沼の空襲」が上演され、戦時中の鹿沼の様子や空襲の被害が子ども



▲ロビーには焼夷弾などが展示



▲戦争体験を語り継ぐ会による紙芝居

広島派遣事業の学び

後半のオンライン対話では、広島平和記念式典派遣事業に参加した中学生の代表が4つのテーマに沿って作文を発表しました。「今もお過去の悲劇を伝え続けている人がいる」「家族のありがたみ、戦争・核の恐ろしさを伝えていきたい」、「異なる文化や価値観を持つ人々を理解し、尊重する姿勢を持つことが重要」「優しさで返せば、きつと優しさが戻ってくる」といった意見や想いが述べられました。

どの発表からも、広島での体験を自分の言葉で受け止めようとする姿勢が感じ



▲柳田氏と中学生のオンライン対話の様子

られました。柳田氏は、生徒一人ひとりと対話した後、生徒の作文にはそれぞれ大事なことが書かれており、自分で考える力がしっかり育っていると総評しました。

平和を次世代へ

来場者からは「中学生が頼もしく感じた」「平和に対する思いを今後も大切に伝えてほしい」といった感想が寄せられました。

今回の平和集会で得られた気づきや思いを家庭や学校、地域の中で語り合い、伝えていくことで、戦争の記憶を風化させず、平和な社会を次の世代につなぐことでしょう。



▲柳田氏と対話した中学生たち

※集会の様子はホームページからご覧いただけます。



新春あいさつ
／出来事

友好都市・墨田区

民生委員

名誉市民
／平和集会

秋の叙勲
／財政状況

ブランドオフィス市
／フラッシュユ

市民のひろば

みんなの健康

お知らせ

合併20年